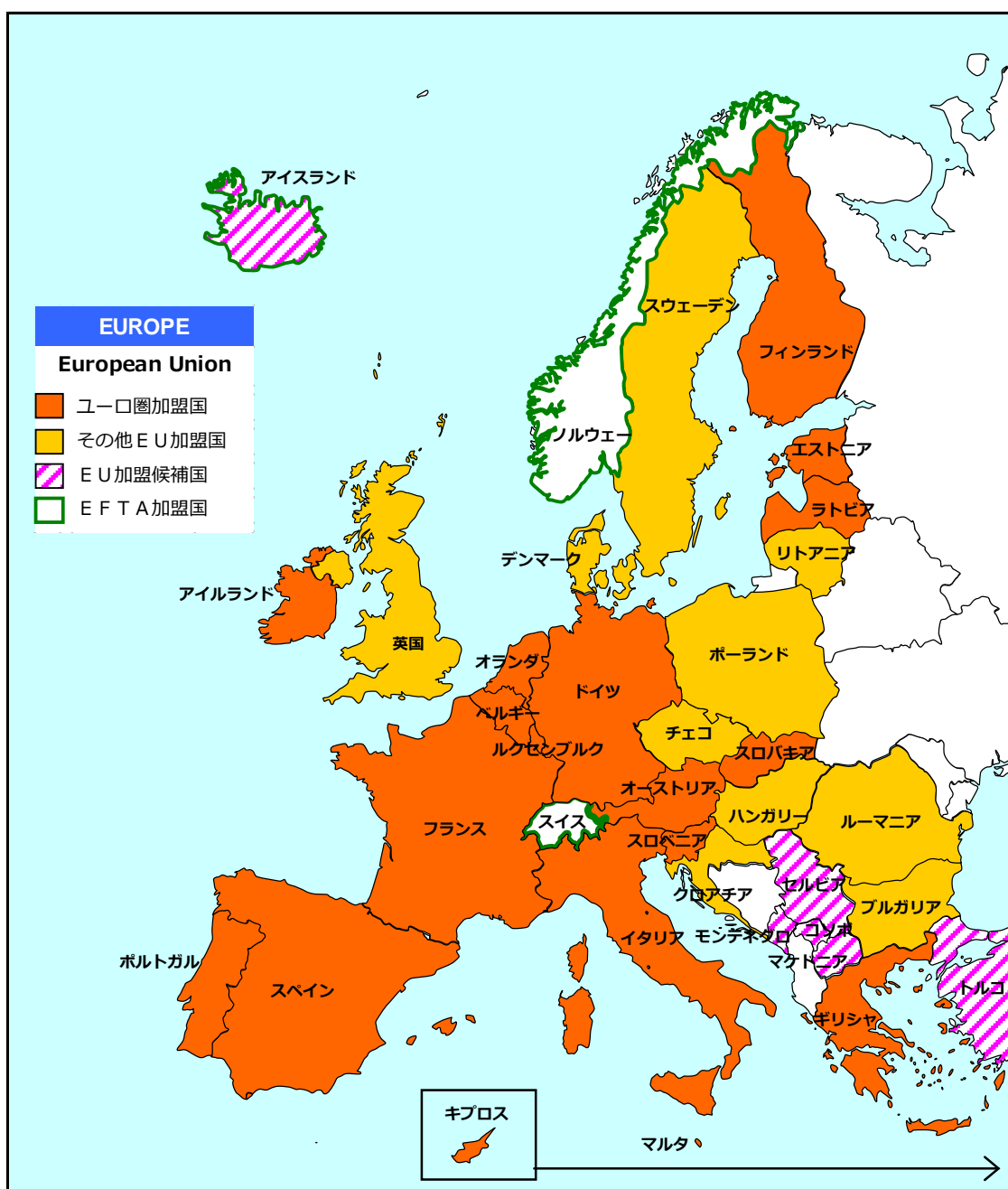


2014年6月23日 全13頁

欧州経済アップデート (2014.6)

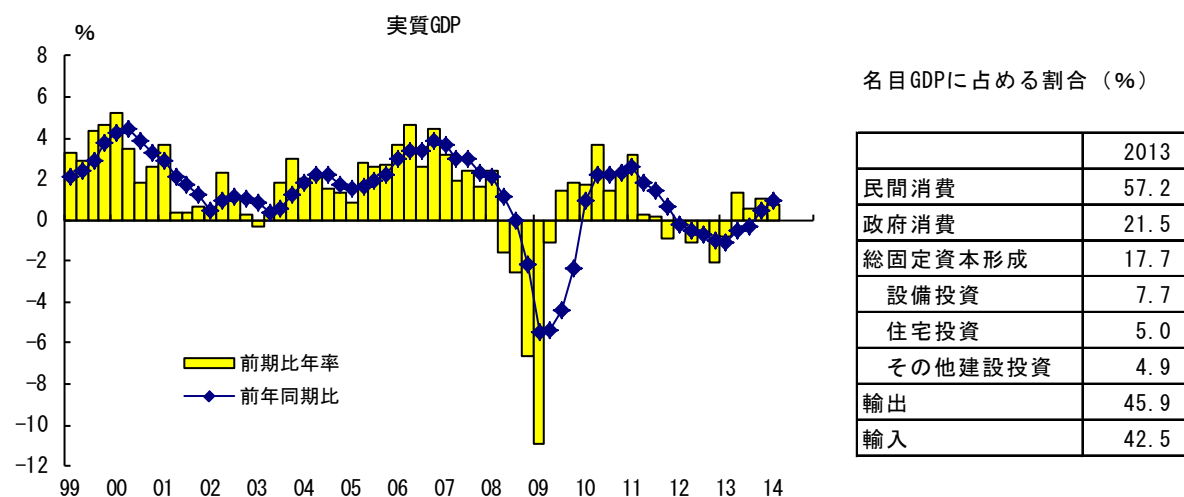
経済調査部
研究員 矢澤 朋子



出所：三角形「白地図専門店」サイトより大和総研作成

ユーロ圏 GDP

- 14年Q1のGDP成長率(2次推計)は前期比+0.2%と速報から変わらず。民間消費は同+0.1%とかるうじてプラス成長を維持するも、低水準の伸びが続く
- 総固定資本形成は前期比+0.3%に減速。うち、設備投資は同-0.4%と4四半期ぶりのマイナスに転落。一方、住宅投資は同+1.2%と11年Q1以来の大幅なプラスとなった
- 輸出は前期比+0.3%に減速し、純輸出の寄与度はマイナスに転換した



ユーロ圏の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1
実質GDP	0.8	0.1	0.0	-0.2	-0.1	-0.3	-0.2	-0.5	-0.2	0.3	0.1	0.3	0.2
個人消費	0.2	-0.5	0.3	-0.7	-0.3	-0.6	-0.1	-0.5	-0.2	0.2	0.1	0.0	0.1
政府消費	-0.2	0.1	-0.3	0.2	-0.3	-0.2	-0.2	0.1	0.2	0.0	0.2	-0.4	0.3
総固定資本形成	2.4	-0.6	-0.4	-0.7	-1.0	-1.8	-0.6	-1.4	-1.6	0.2	0.5	0.9	0.3
設備投資	2.1	0.2	0.4	-1.0	-0.9	-2.1	-0.5	-1.1	-1.0	0.6	0.1	2.0	-0.4
住宅投資	2.7	-1.0	-1.3	-0.5	-0.3	-1.4	-0.8	-1.8	-1.5	-0.4	1.0	-0.4	1.2
その他建設投資	2.6	-1.4	-0.5	-0.4	-2.0	-1.7	-0.5	-1.4	-2.8	0.0	0.5	0.4	0.7
輸出	1.6	0.4	1.3	0.3	0.9	0.9	0.8	-0.6	-0.8	2.4	0.0	1.4	0.3
輸入	1.6	-0.1	0.5	-1.1	0.1	-0.2	0.3	-1.0	-0.8	1.6	0.9	0.7	0.8

ユーロ圏の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

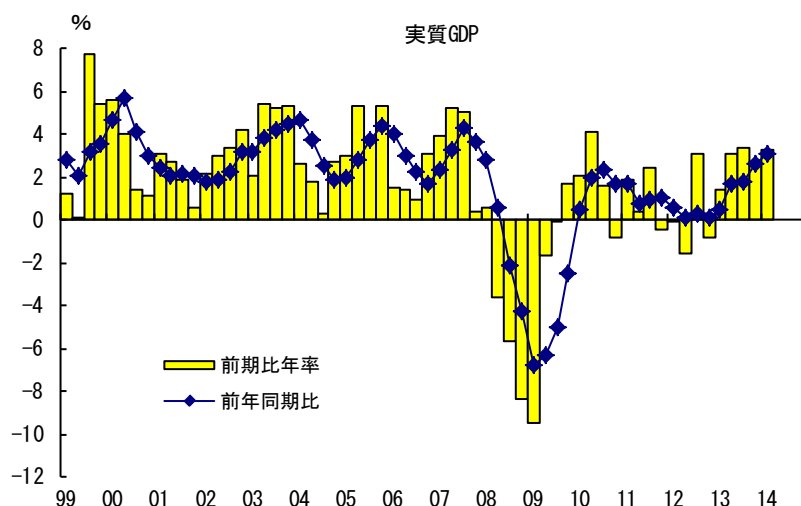
	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1
実質GDP	0.79	0.07	0.04	-0.23	-0.06	-0.27	-0.15	-0.52	-0.21	0.32	0.13	0.26	0.18
個人消費	0.09	-0.30	0.15	-0.38	-0.14	-0.31	-0.06	-0.30	-0.12	0.10	0.07	0.02	0.05
政府消費	-0.04	0.03	-0.06	0.04	-0.07	-0.04	-0.05	0.01	0.04	0.01	0.05	-0.08	0.06
総固定資本形成	0.45	-0.12	-0.07	-0.13	-0.20	-0.33	-0.11	-0.25	-0.29	0.03	0.08	0.16	0.06
設備投資	0.18	0.01	0.03	-0.09	-0.08	-0.18	-0.04	-0.09	-0.08	0.05	0.01	0.16	-0.03
住宅投資	0.14	-0.05	-0.07	-0.02	-0.01	-0.07	-0.04	-0.09	-0.07	-0.02	0.05	-0.02	0.06
その他建設投資	0.13	-0.07	-0.03	-0.02	-0.10	-0.08	-0.03	-0.06	-0.13	0.00	0.02	0.02	0.03
在庫変動	0.23	0.24	-0.32	-0.33	-0.01	-0.06	-0.15	-0.13	0.22	-0.22	0.31	-0.17	0.21
輸出	0.71	0.17	0.57	0.12	0.38	0.40	0.35	-0.27	-0.38	1.08	0.02	0.63	0.15
輸入	-0.64	0.06	-0.23	0.45	-0.02	0.08	-0.13	0.42	0.32	-0.65	-0.39	-0.30	-0.35
純輸出	0.07	0.23	0.34	0.58	0.36	0.48	0.23	0.14	-0.06	0.42	-0.37	0.33	-0.20

出所：Eurostat、Haver Analytics データより大和総研作成

* このレポートに掲載しているユーロ圏データに関するおことわり
 ユーロ圏とは、EU加盟国のうち単一通貨ユーロを導入し、金融政策を欧州中央銀行（ECB）に委ねている国々のこと。14年1月からラトビアがユーロの導入を開始し、現在は18か国。14年1月以降のデータが公表されている場合、過去に遡って18か国ベースに修正済み。13年12月まで公表のデータは17か国ベース。

英国 GDP

- 14年Q1のGDP成長率（2次推計）は前期比+0.8%と速報から変わらず。個人消費は前期比+0.7%となり、最大のプラス寄与となった
- 総固定資本形成は5四半期連続のプラス成長を記録。うち企業部門が前期比+2.7%、民間住宅投資が同+2.1%と力強い伸びとなった
- 輸出入は共に前期比マイナスとなるも、純輸出はかろうじてプラス寄与を維持



名目GDPに占める割合（%）

	2013
民間消費	66.4
政府消費	21.3
総固定資本形成	14.0
政府部門	2.0
企業部門	7.8
民間住宅投資	3.0
輸出	31.4
輸入	33.0

英国の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1
実質GDP	0.5	0.1	0.6	-0.1	-0.0	-0.4	0.8	-0.2	0.4	0.8	0.8	0.7	0.8
個人消費	-1.1	0.0	-0.1	0.6	0.5	0.5	0.3	0.4	1.0	0.3	0.8	0.3	0.7
政府消費	-0.1	0.1	-0.4	0.4	2.5	-1.6	0.2	0.2	-0.5	1.4	0.6	0.0	0.1
総固定資本形成	-4.8	6.5	-1.1	-1.2	4.6	-1.5	-2.7	-5.1	0.9	4.0	1.9	1.9	0.6
政府部門	0.0	-13.3	5.1	-4.8	9.1	7.3	-12.9	-5.0	-8.1	11.8	1.1	1.3	-10.3
企業部門	-5.3	12.3	-3.5	-1.2	7.5	-2.6	0.5	-7.4	2.8	0.9	2.4	2.4	2.7
民間住宅投資	-6.5	6.2	7.8	1.1	-5.1	-4.8	-2.5	0.3	0.6	8.0	0.6	0.5	2.1
輸出	3.8	-5.2	1.1	4.7	-1.2	-1.4	3.3	-1.1	-1.0	2.5	-1.9	2.8	-1.0
輸入	-2.6	-0.7	1.0	1.1	1.0	1.2	0.5	0.0	-2.4	2.3	1.5	-0.4	-1.1

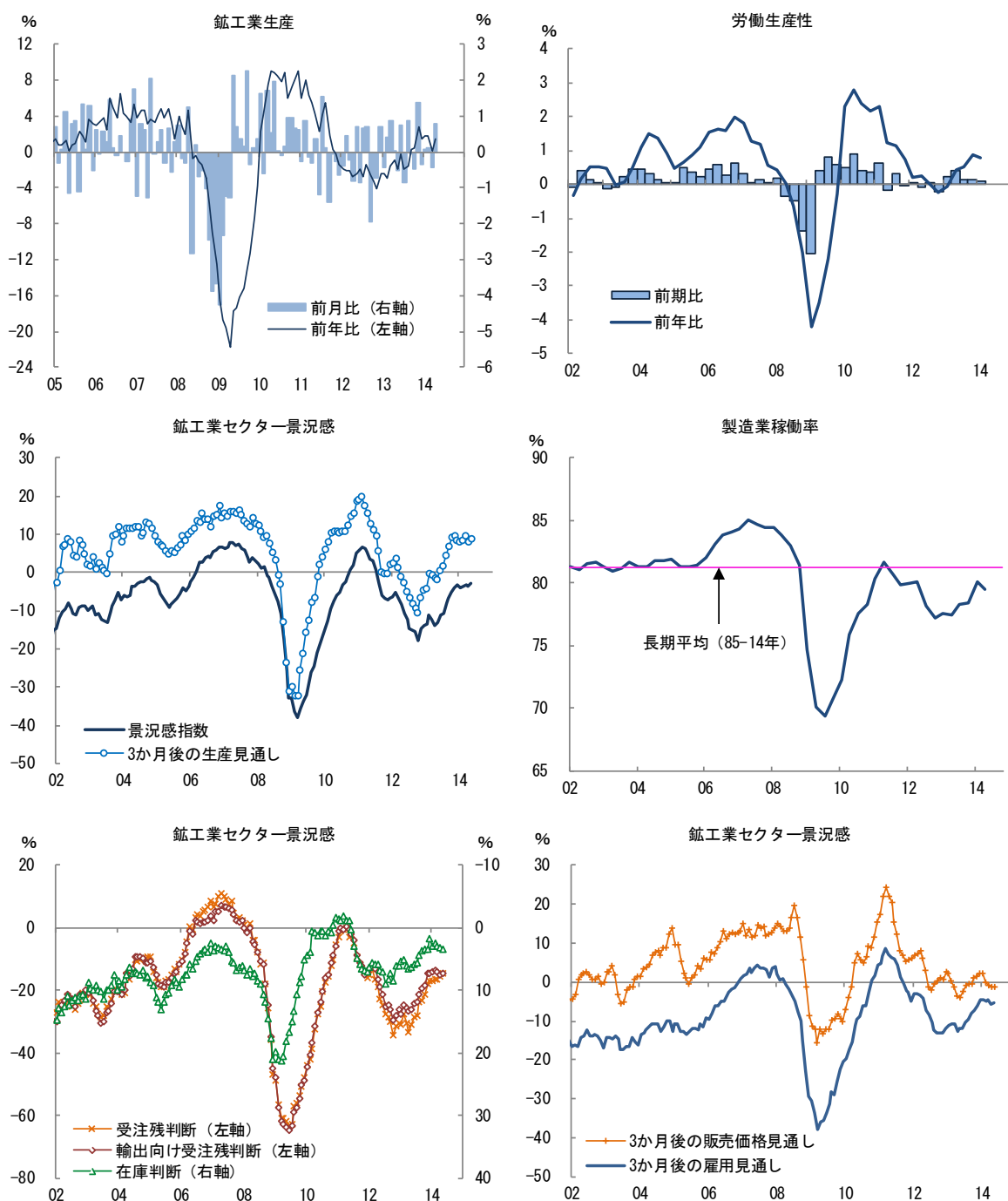
英国の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1
実質GDP	0.47	0.10	0.60	-0.11	-0.01	-0.39	0.77	-0.21	0.36	0.76	0.84	0.68	0.81
個人消費	-0.74	0.01	-0.09	0.35	0.29	0.30	0.19	0.29	0.62	0.17	0.49	0.19	0.42
政府消費	-0.01	0.03	-0.10	0.10	0.55	-0.36	0.05	0.05	-0.12	0.32	0.14	0.01	0.01
総固定資本形成	-0.70	0.90	-0.16	-0.17	0.66	-0.23	-0.41	-0.73	0.12	0.54	0.26	0.27	0.08
政府部門	0.00	-0.32	0.11	-0.10	0.19	0.17	-0.32	-0.11	-0.16	0.22	0.02	0.03	-0.21
企業部門	-0.42	0.92	-0.29	-0.10	0.60	-0.22	0.04	-0.62	0.22	0.07	0.19	0.20	0.23
民間住宅投資	-0.20	0.18	0.24	0.04	-0.17	-0.15	-0.08	0.01	0.02	0.24	0.02	0.02	0.07
在庫変動	-0.09	0.60	0.94	-1.46	-0.59	0.85	0.17	0.63	-0.66	-0.25	1.08	-0.77	0.25
輸出	1.16	-1.67	0.32	1.43	-0.39	-0.43	1.03	-0.36	-0.30	0.77	-0.61	0.86	-0.32
輸入	0.85	0.23	-0.32	-0.36	-0.34	-0.39	-0.16	0.00	0.78	-0.75	-0.49	0.13	0.35
純輸出	2.01	-1.44	0.01	1.08	-0.72	-0.82	0.88	-0.36	0.48	0.03	-1.10	0.99	0.03

出所：英国統計局、Haver Analytics データより大和総研作成

ユーロ圏 生産

- 4月の鉱工業生産は、製造業の牽引により前月比+0.8%とプラスに転換。前年比は+1.4%。製造業がやや加速し、鉱業及び電気・ガス・水道の減少幅が縮小した
- 5月の鉱工業セクター景況感は、3か月後の生産見通し及び受注残判断が貢献して、わずかに改善した
- 14年Q1の労働生産性は前期比+0.1%。前年比は+0.8%と13年Q4の同+0.9%からやや低下した

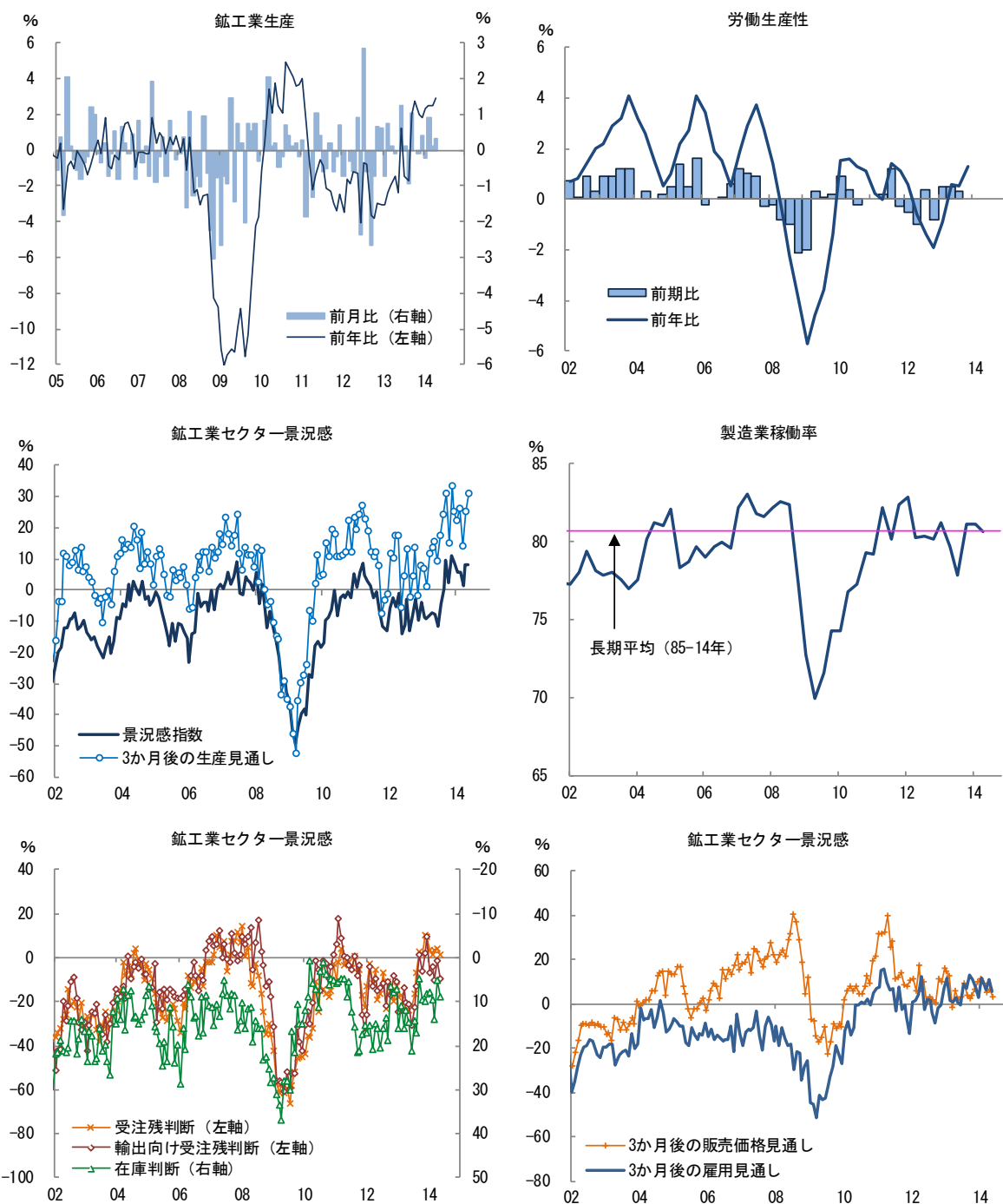


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、ECB、欧州委員会データより大和総研作成

英国 生産

- 4月の鉱工業生産は前月比+0.4%。電気・ガスの生産が大きく増加。前年比は、製造業（特にゴム・プラスチック及び輸送用機器部門）の牽引により+3.0%となった
- 5月の鉱工業セクター景況感は前月比横ばい。3か月後の生産見通しは改善したが、受注残判断及び在庫判断は悪化
- 3か月後の雇用見通しは小幅な改善と悪化を繰り返すも、高水準を維持

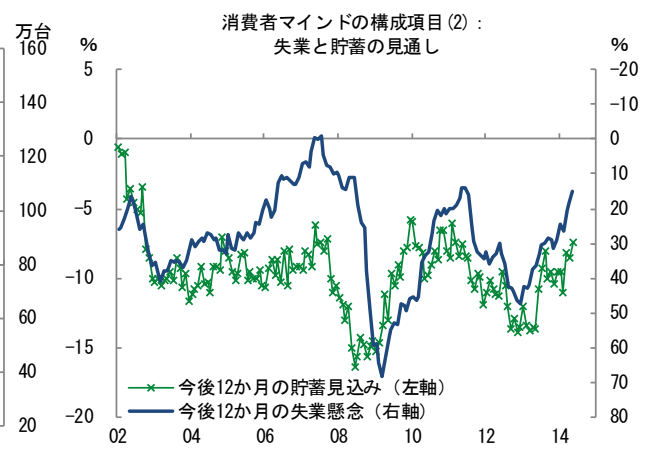
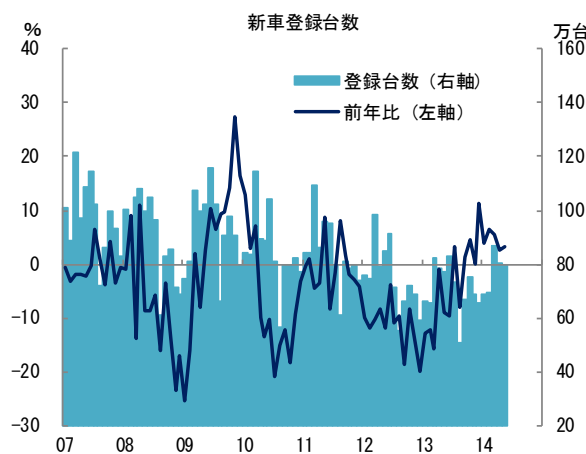
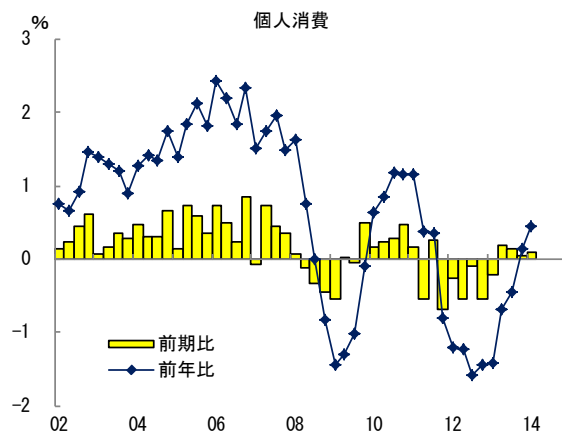


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、Eurostat、欧州委員会データより大和総研作成

ユーロ圏 消費

- 4月の小売売上高は前年比+2.4%と07年3月以来の大幅な伸びを記録。セクター別では、食品・飲料・たばこは5か月ぶりに前年割れを脱し、非食品は力強い伸びが続く
- 5月の新車登録台数は79万5千台。前年比は+3.1%となり、6か月連続の増加
- 5月の消費者マインドは前月比での改善が続く。すべての構成項目が改善

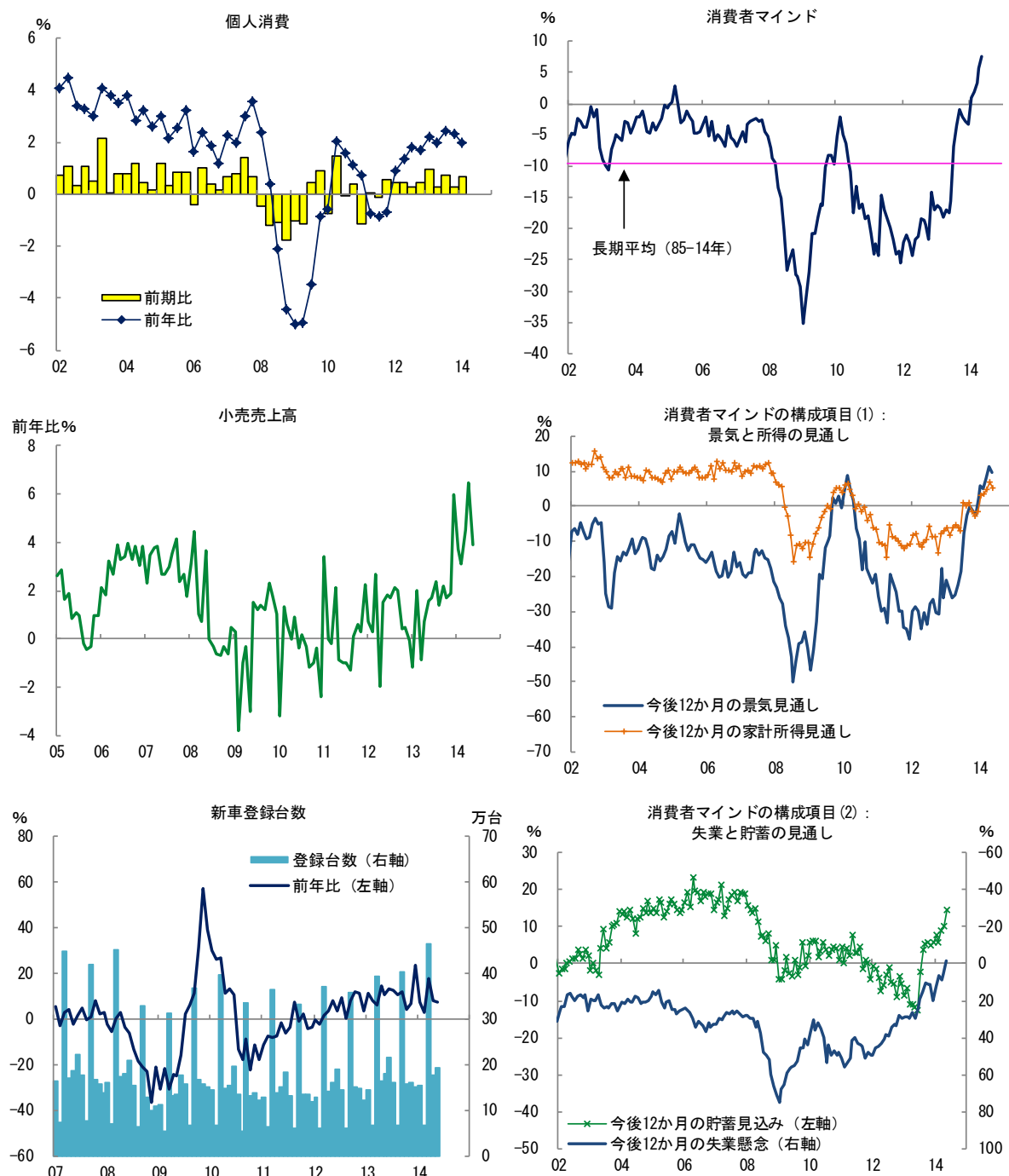


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

英国 消費

- 5月の小売売上高は前年比+3.9%。イースターで好調だった4月からは減速したが、高水準の伸びを維持。非食品セクターは08年10月以来の14か月連続のプラス成長を記録
- 5月の新車登録台数は19万4千台。前年比は+7.7%と力強い伸びが続く
- 5月の消費者マインドは改善が続き、85年1月の統計開始以来の高水準を記録

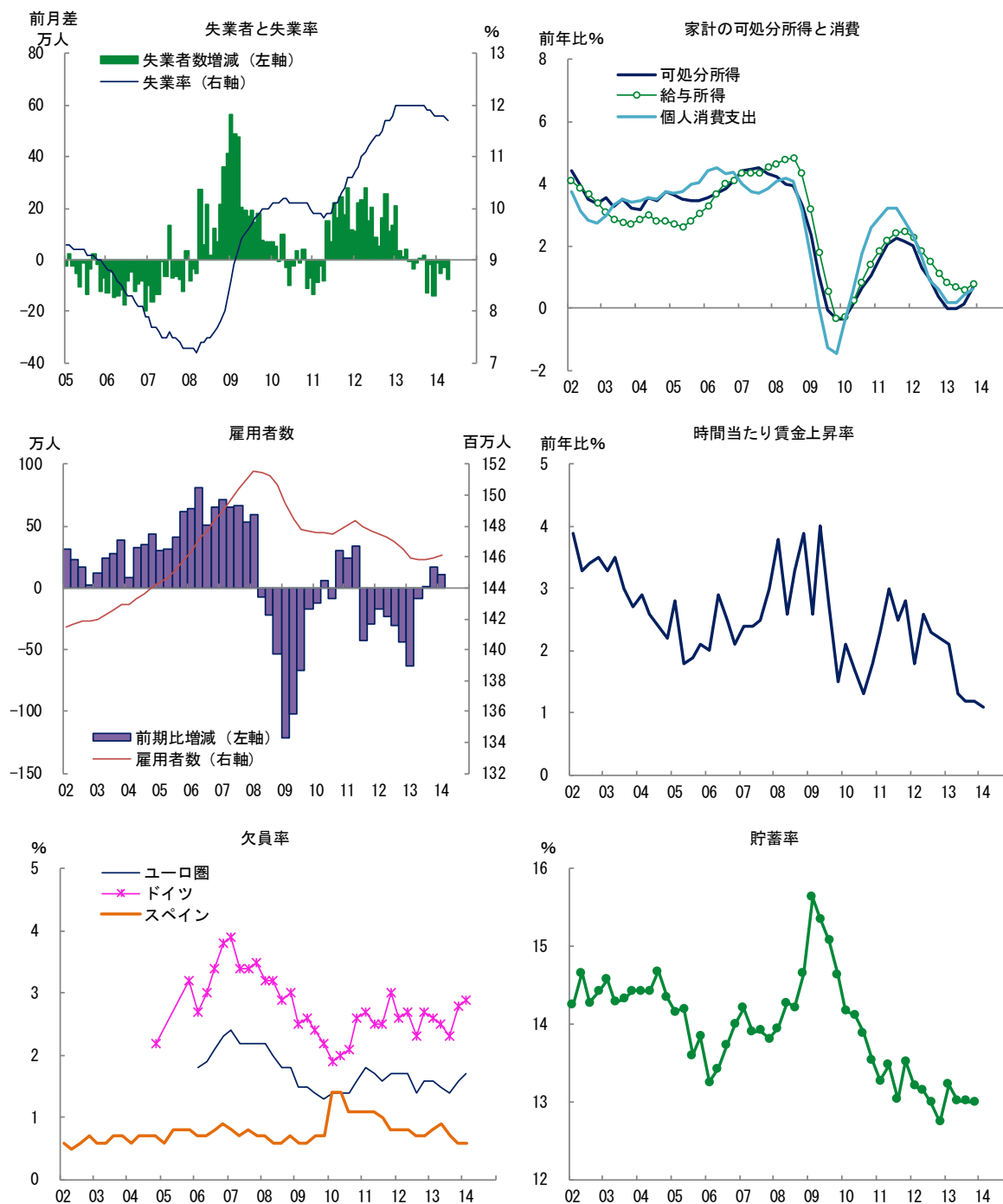


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

ユーロ圏 雇用・所得

- 4月の失業率は11.7%とわずかに低下。失業者数は前月比-7万6千人と7か月連続の減少。スペイン、次いでポルトガルでの減少が続く。フランスでは6か月ぶりの減少となった
- 14年Q1の雇用者数は前期比+11万2千人の増加となった。3四半期連続の増加となるも、増加幅は13年Q4より縮小
- 14年Q1の時間当たり賃金上昇率は前年比+1.1%となり、13年Q4からほぼ変わらず

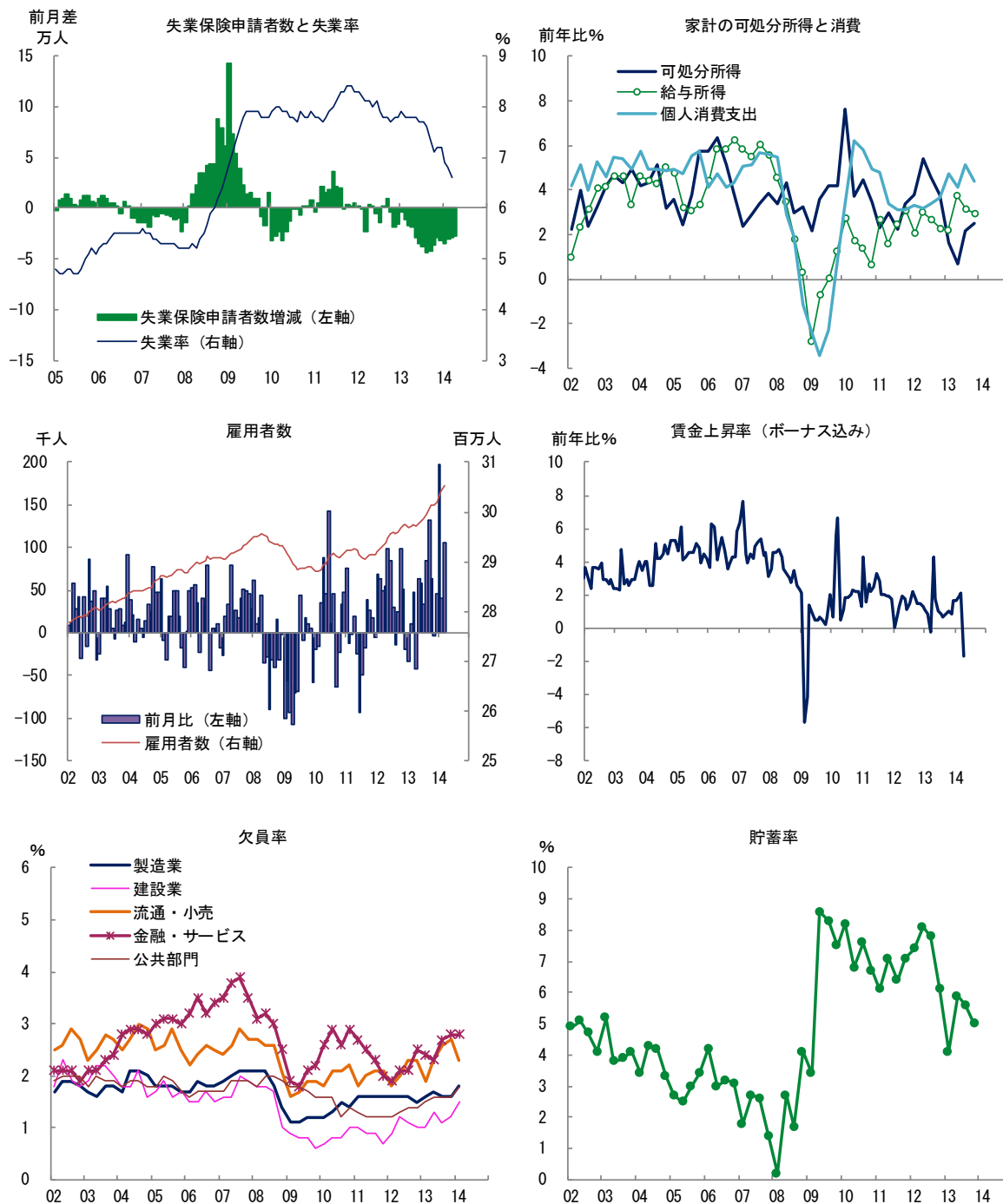


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = Number of job vacancies / (Number of occupied posts + Number of job vacancies) * 100

出所：Eurostat、Haver Analytics、ECB データより大和総研作成

英国 雇用・所得

- 2-4月の失業率は6.6%と08年12月の水準まで低下。雇用者数は1-3月比10万5千人増の3,054万人となり、再び統計開始以来最多を更新
- 失業保険申請者件数は前月比での減少が続く
- 4月の賃金上昇率は前年比-1.6%と09年3月以来の大幅減。これは、民間部門の賞与の支払い時期がずれたため大幅増となった13年4月の反動減が主要因

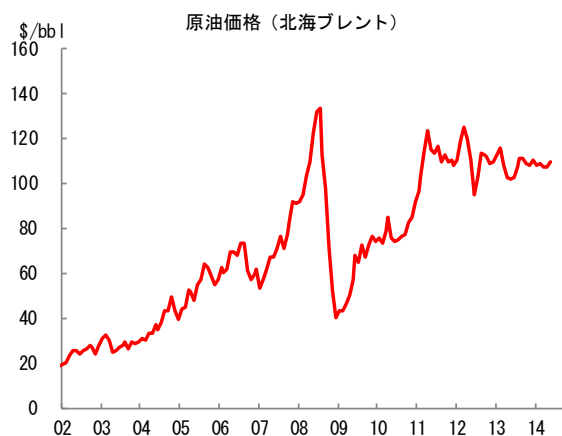
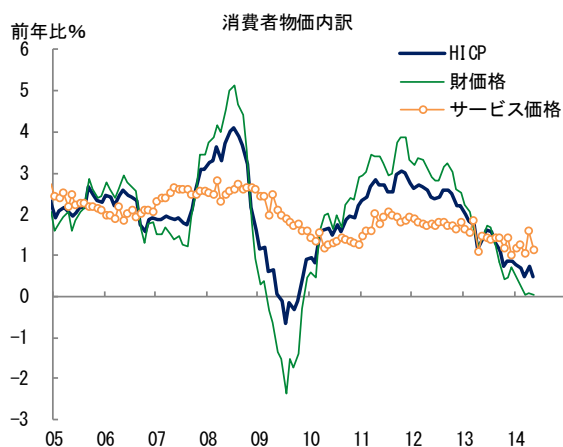
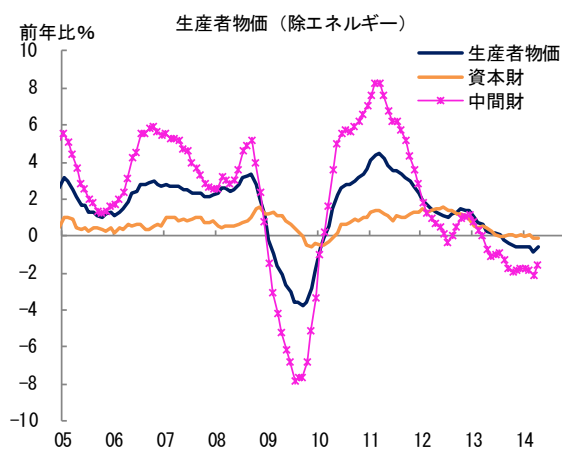


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = Number of job vacancies / (Number of occupied posts + Number of job vacancies) * 100

出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 物価

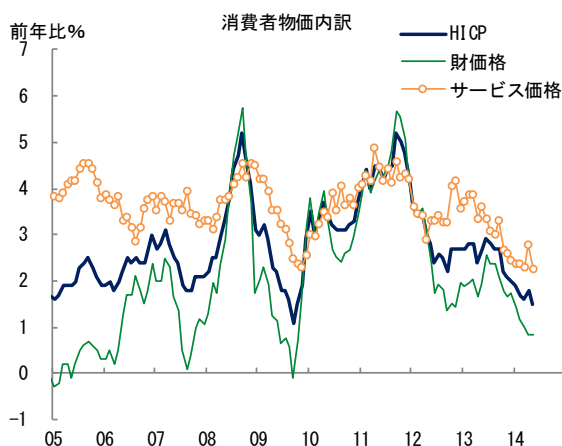
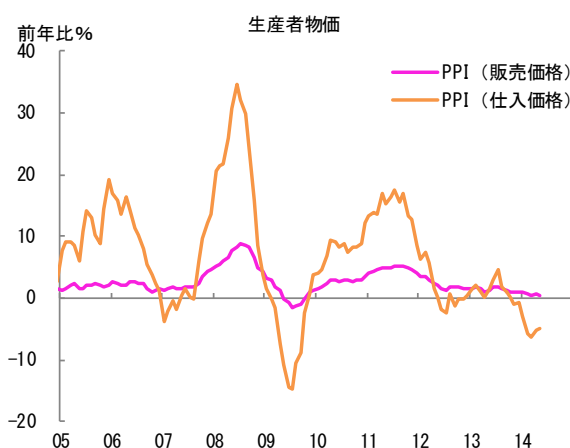
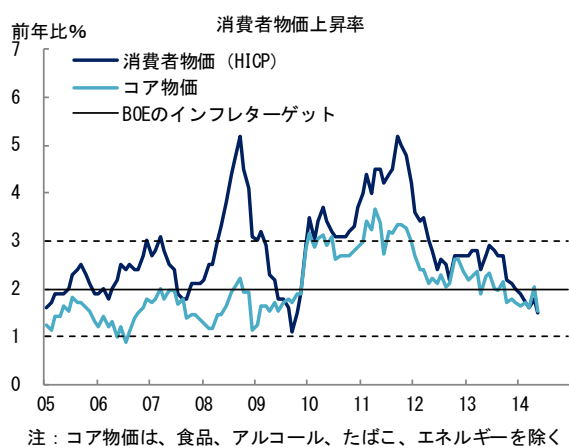
- 5月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+0.5%に下落。コア物価上昇率は、再び97年の統計開始以来最低（同+0.7%）を記録
- 4月の生産者物価は前年比-0.6%。13年8月以降下落が続く。中間財物価の下落幅が縮小
- 5月の原油価格（北海ブレント）は前月比で上昇。ユーロの名目実効為替レートは前月比で下落



出所：Eurostat、ECB、ドイツ連銀データより大和総研作成

英国 物価

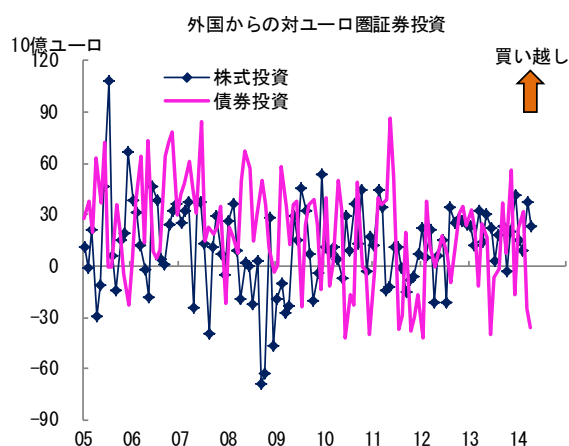
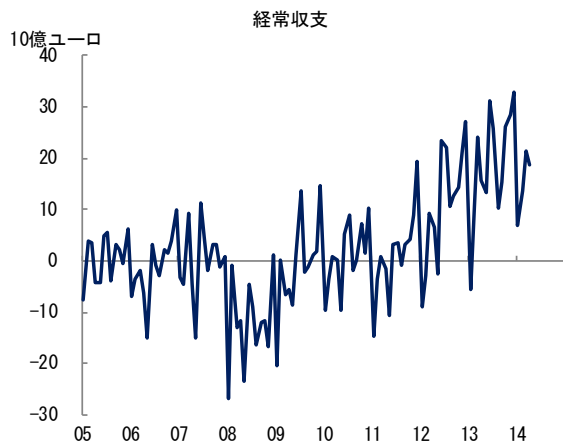
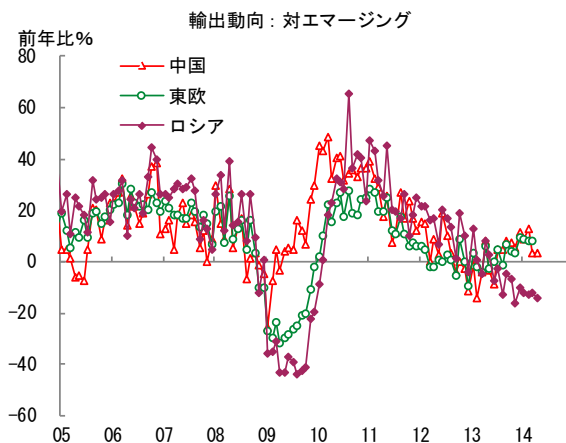
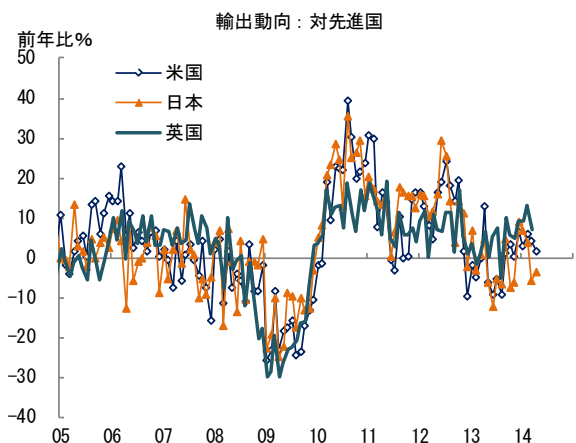
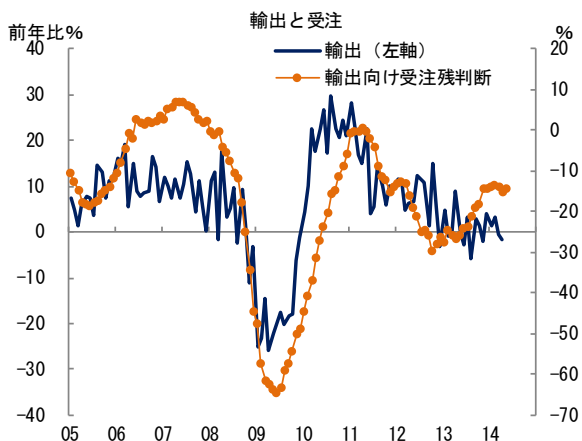
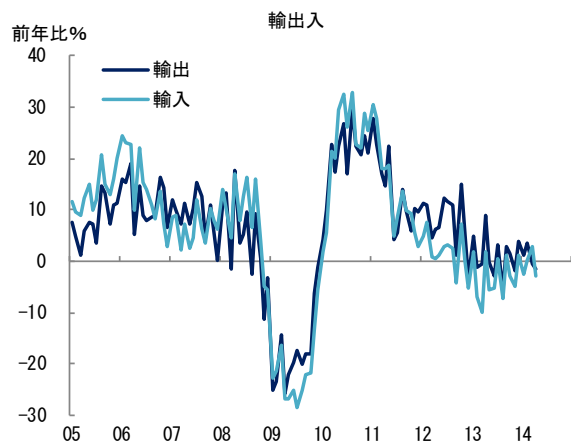
- 5月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+1.5%と09年10月の水準まで低下。イースターの季節要因により減速した輸送費が主要因だが、食品・飲料、服飾品も前年割れに転じた
- 5月の生産者物価上昇率は販売価格は前年比+0.5%。仕入価格は同-5.0%とマイナスが続く。輸入品全般に加え、石油、燃料、国産品の価格下落も続く
- 4月の輸入物価上昇率は前年比-4.7%と下落幅がやや縮小。ポンドの名目実効為替レートは上昇が続く



出所：Eurostat、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 国際収支

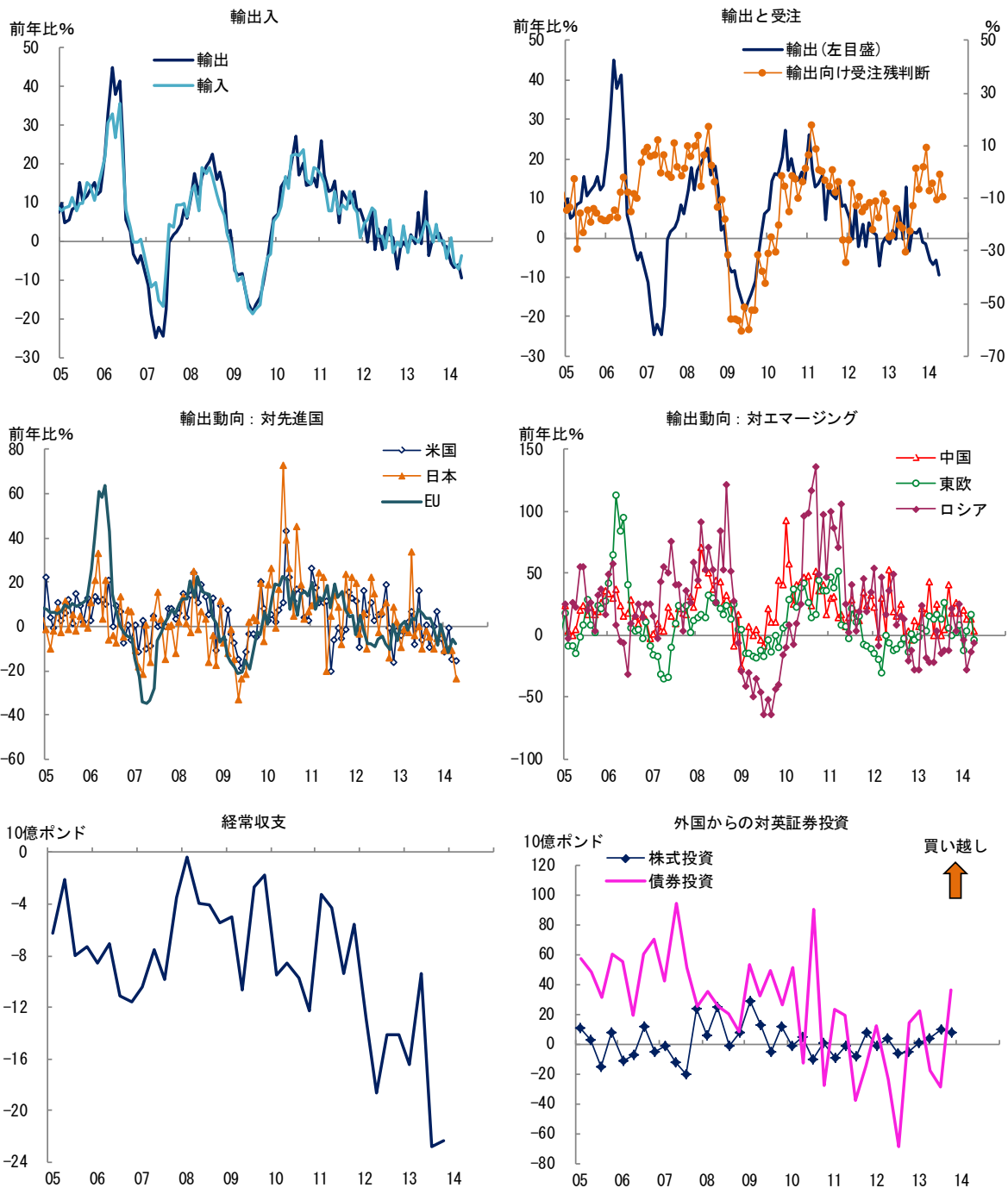
- 4月の輸出は前年比-1.5%と減少幅拡大。輸入は同-2.7%と3か月ぶりの前年割れ。輸出入ともに工業製品（特に機械・輸送用機器）がマイナスに転じた
- 5月の輸出向け受注残判断は前月比ほぼ横ばい
- 財貿易収支及び所得収支の減少により、4月の経常収支は187億ユーロと3月から減少。外国からの対ユーロ圏証券投資は売り越しに転じた。債券投資の売り越しが増加



出所：Eurostat、ECB データより大和総研作成

英国 国際収支

- 4月の輸出は前年比-9.4%、輸入は同-3.7%。輸出入ともに燃料の大幅な減少が続く。工業製品は輸出では減少幅が拡大する一方、輸入ではプラス成長に転じた
- 国別輸出動向を見ると、先進国向けの前年比マイナスが続く。特に日本向けが大きく減少。中国向けは減速し、東欧向けは前年割れに転じた。ロシア向けは減少幅の縮小が続く
- 5月の輸出向け受注残判断は、前月比で再び悪化



出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成